

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			室内の整理整頓をして空間を確保しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	4			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		4		階段が入口にあり必要に応じてホームエレベーターを使用する。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			職員間で情報の共有を行えるようにしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			年1回自己評価をお行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			悠々居ホームページに公開できている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			4	次年度に向けて検討中。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			年間一人2回以上の研修会への参加ができるように配慮しています。
適切 な 支	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1		実態を確認するために支援者間での意見交換を随時行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			4	決まったツールはないが観察したことを共有している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			月事のスケジュールを検討し活動に取り入れています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			マンネリ化しないように検討しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			その日の状態を朝確認して支援者間での共有をしながら課題に取り組んでいる。

（ 援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4		個別、集団での活動を取り入れて参加型の活動を取り入れています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4		朝のミーティングを行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		2事業している為終了後の時間で時間がない時もありますが、空き時間を見つけて振り返りを行うようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4		支援終了後は必ず担当の記録をとっています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4		児童発達支援管理責任者が基本参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4		保護者からの依頼や学校からの依頼により情報共有するようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			受け入れはしていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4		できる限り事業所間での連携をとるようにしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4		必要に応じて学校と共有したり相談支援事業所とやり取りをしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4		大分県発達障がい児支援センターなどのSV派遣などを受け助言を受ける機会を持っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		4	実際に行くことができないがそれぞれが通う児童クラブとの情報共有はしている。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4		代表が出席するようにしている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4		ノートや面談で保護者と共有するようにしている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4		参加者を募り実施することもある。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4		徹底している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4		随時対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4		年1回から2回の保護者会を予定している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4		徹底している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4		通信を月1回配布している。
	35	個人情報に十分注意しているか	4		徹底している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4		職員が積極的に保護者とコミュニケーションをとっている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4		法人の方針では常に開かれた事業運営になっている。コロナ禍前は、法人の祭り等が行われていたが現在中止状態。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4		BCP事業計画に沿って周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4		活動の中で防災意識を高めるために避難訓練を提供する課題に入れて取り組んでいる。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4		2か月1回法人内で研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4		法人内で身体拘束について委員会で確認を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4		契約時に確認している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4		不適合やヒヤリハットの委員会を通じて共有する機会を持っている。